

コミュニティ・スクール通信



東連携型小中一貫校
学校運営協議会



いじめ問題解決に向けた教育懇談会を開催いたしました！（11月29日）

東連携型小中一貫校校区の目指す子ども像は、「高い知性、豊かな心、たくましい体を身に付け、郷土を愛する子ども」であり、「EAST（イースト）子育てアクションプラン」に基づいて、家庭・地域の皆様、学校、児童生徒が共に行動しています。

本教育懇談会は、藤岡市教育委員会、学校、地域で、いじめ問題についての現状を共有し、いじめのない学校・地域づくりを目指して、継続して開催しています。

【参加者】区長会、民児協、青少推、更生保護女性会、PTA、学校職員、東中学生会役員、計70名



全体会の様子

情報提供

最初に、グループ熟議に向けて参加者へ情報提供がありました。

- 藤岡市のいじめの現状と取組……………藤岡市教育委員会
- 東連携型小中一貫校のいじめの現状と取組……………学校
- 学校におけるいじめ問題解決に向けた取組……………生徒

特に、今回は、11月10日に一貫校4校の児童会・生徒会役員14名が集まり、「EAST子育てアクションプランを实践して、いじめのない学校をつくろう」をテーマに話し合った「東人権サミット」の内容について、東中学生会役員から発表してもらいました。子どもの取組を聞き、参加者の関心が高まるとともに、いじめ問題解決に向け、大人と子どもの取組がつながりました。



東中学生会より発表

熟議

6名ずつ9つのグループに分かれて熟議を行い、「高い知性」「豊かな心」「たくましい体」の観点から地域がどのように関係し行動できるか話し合い、4グループに発表してもらいました。

「コミュニケーション」が重要であり、地域で行動できることとして「あいさつの励行」が挙げられました。また、SNSやゲーム機器の発達、家庭のライフスタイルの変化など、従前とは異なる背景をもとにした様々な意見が活発に出されていました。



グループ熟議の様子

まとめ

今回のまとめとして、いじめを未然に防いだり、早期に発見したりするためには、子どもの変化やサインを見逃さず、地域ぐるみで早期に対応することが重要であり、何よりも人権問題として「命の尊さ」を地域でも伝えることの必要性が伝えられ、参加者全員で再確認しました。